

あこう



市議会だより

第173号



令和6年11月11日発行



2P~7P

- ・9月定例会のあらまし・一般質問
- ・議案の議決結果・議員別賛否一覧 など

8~9P

- ・常任委員会等審査から・意見交換会 など

10P

- ・議会活動状況・幹線道路・河川整備特別委員会現地視察
- ・11月定例会・常任委員会の日程(案)
- ・年賀状等挨拶状の禁止について・編集後記

発行・赤穂市議会 編集・議会報編集委員会

赤穂市加里屋81 TEL 0791-43-6876 FAX 0791-43-6893

ホームページ

赤穂市議会

検索

市政の課題 将来の展望を



ただ
質す

9月19日(9名)、20日(4名)に計13名が登壇し、市政の課題や将来展望に対する考え方について一般質問を行いました。

災害時に発生する狭隘道路沿いの 防災対策について

釣 昭彦 議員



問 本市には幅4m未満、また、2m未満の狭隘道路も多く、火災時の避難や消火活動に支障が出る恐れがある。地域防災計画で掲げる、減災・縮災の観点から、どのような対策が可能か。また、地震時や火災時に地域の自衛防災隊が有効に対応できるか、伺う。

その他の質問事項

- 一般社団法人あこう魅力発信基地について

坂越地区における 認定こども園の設置検討について

中谷 行夫 議員



問 坂越幼稚園及び保育所の老朽化に伴い、利用者及び周辺自治会関係者等に認定こども園の新設を含めた地域の意向等の確認を行うべきではないか。また、赤穂市の「子ども・子育て支援」の目玉となる施策として、唯一人口が増加している野中・砂子土地区画整理地区内の大型保留地に認定こども園の整備を検討できないか。

その他の質問事項

- 市民のための赤穂市民病院の在り方について
- 結婚支援事業による少子化対策について
- 出合いの機会の創出による移住・定住促進について

定例会のあらまし

令和6年9月(第3回)定例会を、9月3日から20日までの18日間にわたり開催しました。

この定例会において、報告案件、一般会計補正予算、人事案件等の9議案を審査し、3議案を賛成多数で可決、6議案について全会一致で可決、同意しました。

また、請願1件と意見書2件の審議を行い、請願については、全会一致で採択に、意見書については、1件は全会一致で、もう1件は賛成多数で可決となりました。

また、令和5年度の決算認定については、決算特別委員会を設置し、閉会中の継続審査を行うこととしました。

※QRコードより、議員ごとに一般質問の様子を動画にて閲覧できます。

答 狭隘道路における防災対策として、「減災」や「縮災」の観点からどのような対応が可能かについては、現在、尾崎地区において狭隘道路対策として密集事業を実施している。その内容は、区域内に幅員4メートル以上の道路を配置整備し、防災対策に努めている。また、地震時の倒壊や火災発生時に、地域の自衛防災隊が対応できるのかについては、平時から消防本部による初期消火訓練などを通じて、いざという時に、対応できるよう努めている。



狭隘道路



答 当面は、幼稚園と保育所の設置を継続して、教育・保育を行っていくのが適切であり、認定こども園の設置は、今後の検討課題であるため、現時点では、坂越地区における認定こども園の設置検討に係る地域の意向等の確認を行う考えはない。また、野中・砂子土地区画整理事業地内への設置検討については、当面は、幼稚園と保育所の設置を継続する考えであるため、当該地内も含めた赤穂市内での認定こども園の整備については、今後の検討課題と考えている。



赤穂市立坂越保育所



有年土地区画整理事業における 土地利用意向調査の実施について

山田 昌弘 議員



問 現在、土地区画整理事業が進展し、住宅建設が可能な街区整備も進んでいるが、多くの土地所有者は利用方法を決めかねている。そこで、土地利用に関する意向調査を実施し、それを基に今後の対応を検討することが、新たなまちづくりの指針となる。特に駅周辺の宅地化促進のため、市としてこの意向調査の実施を検討されたい。

その他の質問事項

- 区画整理区域内における一般国道2号「相生有年道路」の早期供用について
- 消防体制の強化について
- アンダーパスの防犯対策について 外

答 土地区画整理事業については、これまでも地権者の意向に応じて、画地整備を進めてきたが、事業着手から20年以上が経過し、既に農地で利用されている一部の地権者においては、宅地化を検討している方もいるのではないかと考えている。個々の土地利用については、一義的には地権者が判断することだが、地域のニーズに応じたまちづくりを推進する観点から、土地利用等に関する意向調査について、「有年駅周辺地区まちづくり協議会」とも連携し、検討していきたい。



有年駅



ヒアリングフレイル(聴覚機能の衰え) チェックについて

前川 弘文 議員



問 加齢性難聴の予防と対策が大切である。「会話をしているときに聞き返すことが増えた」「話し声が大きいと言われる」など数項目で聞こえの状態を確認するセルフチェック用紙の作成や言葉の聴き取りを簡易的に把握する「みんなの聴能力チェック」などのアプリを活用して、ヒアリングフレイルチェックを導入してはどうか。

その他の質問事項

- 災害時における福祉的な支援及び保健衛生環境の整備について
- 新学校給食センターの供用開始に向けた取組みについて
- 市道赤穂海浜公園線の維持管理について 外

答 セルフチェック用紙については、フレイル予防教室で活用し、ヒアリングフレイルの早期発見に努めることとしており、また、難聴の要因でもあるヒアリングフレイルが心身に与える影響やその対策について、広く市民の理解を深められるようフレイル予防教室や広報等での啓発に努めていく。またアプリを使った語音聴力チェックについては、先行自治体の取組み等を参考に、効果的な取組みについて調査研究していく。



社会課題解決と市の魅力向上を 目指す市民提案制度について

荒木 友貴 議員



問 集中改革プランに沿った行政内部の取組みだけでは効果も限界がある。また、予算を理由に市民に新たな提案を諦めさせる雰囲気を変えたい。前向きな課題解決のため、民間事業者や市民団体等から、行政の全ての事業を対象にサービス向上やコスト削減などの柔軟で幅広い提案を募る市民提案制度を導入できないか。

その他の質問事項

- 有機フッ素化合物(PFAS)の定期調査による安全な水の確保と市民への分かりやすい周知について
- 会計年度任用職員の待遇改善について 外

答 市民提案制度については、市民や民間事業者から、新たなアイデアやノウハウを生かした提案を募集し、市民サービスの向上や地域経済の活性化、社会課題の解決を図ることを目的とした制度であると承知している。兵庫県内では、尼崎市と明石市において、同制度を運用されているが、具体的にどのように制度を運用されているか、調査研究していきたいと考えている。



マイナンバーカード・マイナ保険証について

深町直也 議員

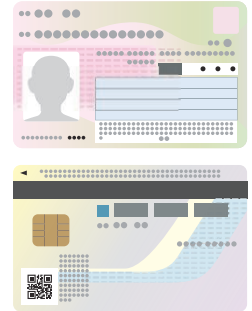


問 マイナ保険証への一本化が12月に迫る中、マイナンバーカードの取得は任意であるにも関わらず、国の説明不足により市民に不安が広がっている。①マイナ保険証等利用についての市民の質問に回答する体制、②トラブル発生時の体制、③マイナ保険証の市内医療機関での利用状況について伺う。

その他の質問事項

- 今年10月からの赤穂市の公共交通について
- 福浦採石場の現状について

答 ①市ホームページには、トップページの「よくあるご質問」欄への追加掲載を行うほか、窓口や電話での問い合わせに対し、丁寧な説明に努める。②保険資格情報など保険者が対応すべきトラブルが発生した場合、医療介護課が兵庫県後期高齢者医療広域連合やオンライン資格確認システムの実施機関である国民健康保険中央会と迅速に連携し対応する。③市内でオンライン資格確認を導入している医療機関は厚生労働省のホームページによると、77施設で、導入が確認できない医療機関は5施設となっている。



姉妹都市交流について

前田尚志 議員



問 茨城県笠間市、熊本県山鹿市及び西オーストラリア州ロッキングハム市と姉妹都市提携を結んでいるが、①現在どのような交流が行われているのか。②交流事業の今後取り組むべき課題は。③ロッキングハム市は、あこう通り (AKO LANE) を設置し、赤穂を紹介している。市内にある通りの一つをロッキングハム通りと名付け、紹介できる取り組みはできないか。

その他の質問事項

- 小中学校屋内運動場（体育館）の空調設備設置の検討状況について

答 ①笠間市及び山鹿市とは、毎年、文化交流作品展を開催しているほか、義士親善友好都市交流会議等で交流を図っている。ロッキングハム市とは、本年3月、児童合唱団が演奏旅行で同市を訪問し、歓迎会の席上で絵画を寄贈いただくなど、交流を続けている。②行政、市民、団体及び事業者等が様々な分野において、新たな交流が生まれるような取り組みを進めていくことが重要である。③さらなる交流の促進を図るため、市内にある通りの一つを、ロッキングハム通りと名付け、ロッキングハム市を紹介できるような取り組みについては、今後、交流を継続する中で参考としたい。



相続登記の申請義務化に係る市の対応について

井田佐登司 議員



問 令和6年4月1日から相続登記が義務化された。国土交通省の調べでは、全国の所有者不明率は20.3%とされている。不動産登記簿等を参照しても所有者が直ちに判明しない土地、所有者が判明しても所有者に連絡がつかない所有者不明土地の増加が社会的な課題となっている。

赤穂市においても相続登記の義務化のPRが必要だと思うが、どのように考えているのか。

その他の質問事項

- 御崎観光駐車場について
- 公共交通について 外

答 相続登記が行われないうちとなっている土地・家屋は本市にも数多く存在し、固定資産税の賦課徴収をはじめ、様々な事業で円滑な事務推進を阻害する要因ともなっている。登記を管轄するのは、あくまでも法務局だが、相続登記の義務化はこれらの問題解決に寄与する非常に重要な制度であり、市としても、固定資産税の納税通知書へのチラシ同封、窓口相談時の説明等制度の周知と促進に協力しているところである。



赤穂市民病院のがん相談支援センターの取組みについて

南條千鶴子 議員



問 赤穂市民病院には、がん患者や家族が抱える様々な不安や悩みに対応するためのがん相談支援センターが設置されている。がんと診断された時から緩和ケアは始まるといわれているが、当事者や家族に向けて治療・仕事・経済・副作用など様々な相談支援のニーズに対応するための取組み状況はどうか。

その他の質問事項

- 認知症の人に寄り添った地域社会の構築について
- がんサポーターの養成について
- 小中学校におけるがん教育の取組みについて
- 空家、空地対策について

答 赤穂市民病院のがん相談支援センターでは、「がん看護専門看護師」や「緩和ケア認定看護師」の資格を持つ看護師や医療ソーシャルワーカーを配置し、がん患者やその家族からの様々な相談を受けている。また、診察補助を行う看護師や医師事務作業補助員とも情報共有し、がんと診断された直後からスムーズに当該支援センターへつなげられるよう、体制を整えている。さらには、がん看護相談外来を開設し、入院・外来に関わらず、がんと診断された



公共施設の空調機器の更新、学校の特別教室・屋内運動場に新設を

家入時治 議員



問 近年の夏は酷暑である。①各公共施設の空調機器は設置年や状況を把握しているのか。故障したら修理・更新するという考えでは事務事業や利用者に影響を与える。②小中学校の特別教室・屋内運動場の計画的設置も遅すぎる。厳しい財政でも必要な空調機器は更新・新設すべきである。③市長が各部門に予算要求させるべき。

その他の質問事項

- 移住定住戦略のため、転入理由の把握について
- 移住チラシ、フラッグの市内店舗への設置について 外

答 ①各施設の管理者において把握しており、現況については、定期的な点検の実施により確認している。②小中学校の特別教室については、使用頻度等を考慮し、計画的に整備したいが、優先順位や財源等を考慮し、大規模改修工事やLED化などを実施しているため、ご理解いただきたい。屋内運動場については、赤穂西中学校の屋内運動場をモデルとして、空調効率や施工方法、導入経費等を検討する業務委託を実施しており、その結果を踏まえて今後の方針を検討したい。③各施設の管理者において、個別施設計画や定期的な点検結果に基づき実施計画に計上し、適切に予算要求をしている。



トラストホープ球場本部室



赤穂市民病院のコンビニの撤退について

瓢 敏雄 議員



問 赤穂市民病院のコンビニが7月末で閉店した。今はアイスクリームが買えない、新聞が読めない、コピーすることもできない状態である。このような状態が続くことは病院への信頼回復がますます遠くなると考える。患者側だけでなく医療スタッフへの影響も大きいのではないか。コンビニの閉店をどのように考えているか。

その他の質問事項

- 沖縄慰霊の日には黙とうを
- 第3セクター「赤穂駅周辺整備事業」の損害賠償金について
- アオギリの活用について

答 市民病院のコンビニ撤退については、病院利用者にご不便をおかけしていると認識している。コンビニ本部から本年7月末をもってフランチャイズオーナーとの契約が終了する旨の連絡があり、出店の継続を強く要請していたが、最終的に後継オーナーが決定しなかったため、閉店することとなった。8月に売店事業者を公募した結果、1事業者から出店希望があり、現在、当該事業者と早期の再開を目指し、出店調整を行っている。



コンビニ撤退後の空きスペース



学校の統廃合について、 教育長はどのように考えるか

奥藤 隆裕 議員



問 統廃合についての教育長の慎重な姿勢は理解するが、最近の「学校が無くなると地域が減じる」という一方的な説明には疑念を抱いている。まず考えるべきは、子供たちの将来についてである。少人数の学校が教育の質を制限する現実や財政的な観点も無視できない。真摯に学校改革に取り組む必要があると考えるがどうか。

その他の質問事項

- ① ある小学校の校長が本年3月に学校運営協議会の委員に配布した教育長人事に関する文書について、市長は知っていたのか。また、それについての考えを伺う。
- ② 質問①の文書について、教育長は知っていたのか。また、それについての考えを伺う。

答 学校統廃合について、あくまで「子供のために」が一番であり、「地域のために」というのは一つの手引きを引用しただけであり、もともと「学校がなくなると地域が減じる」という言葉も小規模校区の自治会長の言葉を引用したものである。学校統廃合は、行政が主体で行うものではなく、あくまで地域の要望により行っていくものである。今後も地域住民との対話を深め、困難な現実から逃れることなく、子供たちのためのよりよい環境づくりを進めていく。



市道の維持管理について

田淵 和彦 議員



問 市道の維持管理は市負担で行うこととなっている。路側帯の雑草が繋がると通行の障害となるため地域で草刈りをしているが、のり面の草刈りは危険な箇所での作業であるとともに、地域の高齢化により作業人員も減少している。①走行障害等となる市道にはみ出た樹木等は市の管理で伐採撤去すべきではないか。②市道の路側帯及びのり面に防草シート等を設置できないか。

その他の質問事項

- 観光客の集客に対する取組みについて（播州赤穂駅から赤穂城跡にかけて）
- 高取峠トンネル化に向けた取組みについて
- 赤穂市民病院について

答 ①市道の草刈りについては、道路管理者である市が主要な道路を実施しているほか、地元自治会等でも美化活動として一部ご協力いただいている箇所もある。今後も引き続き、地元自治会等の協力も得ながら、適切な維持管理に努めていく。②コンクリートや防草シートによる防草対策を継続的に実施している。今後も、交通量、視距（見通すことのできる距離）などの道路状況や各自治会からの要望などを勘案しながら、順次整備を進めていく。



9月（第3回）定例会提出議案に対する議員別賛否一覧表

賛成：○ 反対：× 欠席：欠 ※議員は議席順

議案等番号	件名	議決結果	西川浩司	山野崇	南條千鶴子	安田哲	井田佐登司	荒木友貴	深町直也	中谷行夫	榊悠太	釣昭彦	奥藤隆裕	前川弘文	前田尚志	瓢田敏雄	田入和彦	家入時治	山田昌弘	土遠孝昌	
報第11号 専第5号	専決処分の報告について 令和6年度赤穂市一般会計補正予算	承認	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
認第1号～ 認第10号	令和5年度赤穂市一般会計、5特別会計、4公営企業会計 歳入歳出決算認定について	決算特別委員会で継続審査																			

議案等番号	件名	議決結果	西川浩司	山野崇	南條千鶴子	安田哲	井田佐登司	荒木友貴	深町直也	中谷行夫	榊悠太	釣昭彦	奥藤隆裕	前川弘文	前田尚志	瓢田敏雄	田入時彦	山田昌弘	土遠孝昌	
第78号議案	令和6年度赤穂市一般会計補正予算	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第79号議案	令和6年度赤穂市国民健康保険事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	欠	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第80号議案	赤穂市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第81号議案	赤穂市工場立地促進条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第82号議案	赤穂市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	欠	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第83号議案	赤穂市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について	可決	○	○	○	欠	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第84号議案	赤穂市新学校給食センター整備事業請負契約の締結に係る議決変更について	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第85号議案	赤穂市教育委員会委員の任命について	同意	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第86号議案	人権擁護委員の推薦について	同意	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願審議結果																				
第3号	「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書採択の請願について	採択	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書審議結果																				
第3号	「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第4号	厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書の提出について	可決	○	×	○	欠	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○

議長のため、表決には加わりません。

議長のため、表決には加わりません。

「-」：議長のため表決には加わりません。

9月(第3回)定例会報告案件

報告番号	件名
報第12号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
報第13号	令和5年度公益財団法人赤穂市文化とみどり財団の経営状況の報告について
報第14号	令和5年度赤穂駅周辺整備株式会社の経営状況の報告について

決算特別委員会を設置

令和5年度決算審査のため、9月定例会の2日目(9月6日)に決算特別委員会が設置され、正副委員長互選、審査方針などを決定しました。閉会中5日間決算特別委員会を開催し、適正な予算執行が行われているかについて審査を行いました。

委員長 山田 昌弘

副委員長 榊 悠太

委員 南條千鶴子 安田 哲 荒木 友貴

// 釣 昭彦 奥藤 隆裕 瓢 敏雄

常任委員会等審査から(主な質疑)

民生生活 9月9日に開催し、付託された第78号議案関係部分など4議案を慎重審査した結果、全会一致で原案通り可決すべきものとされました。

<生活保護安定運営対策等事業について>

- 問** 就労自立給付金の算定式について
- 答** 現在は保護廃止月から起算して過去6か月間の収入充当額に10%を乗じた額に、基礎額として単身世帯は2万円、複数世帯は3万円を加えた額を支給しているが、10月1日の変更後は、単身世帯は4万円、複数世帯は5万円の基礎額から、最初に就労収入があった月の翌月から廃止月までの月数に7,500円を乗じた額を減額し、加算することとなる。

<予防接種費について>

- 問** 新型コロナウイルスワクチン接種自己負担額及びその根拠について
- 答** 令和5年末時点では国がワクチン代を3,260円と見込んでいたが、令和6年2月に11,600円に見直され、生じた超過部分のうち8,300円を国が各自治体に助成金として支給することとなり、当初予定していたワクチン代3,260円を勘案し、定期接種者の自己負担額は3,000円とする予定である。

建設水道 9月10日に開催し、付託された第80号議案など2議案を慎重審査した結果、全会一致で原案通り可決すべきものとされました。

<赤穂市工場立地促進条例の一部を改正する条例の制定について>

- 問** 改正の狙いについて
- 答** 本市では令和4年7月に赤穂市ゼロカーボンシティ宣言、令和6年1月には赤穂市環境基本計画の一部改定を行っており、これらに掲げる目標達成に向け、企業の取組みを側面支援していくため、当該条例の中に脱炭素に資する設備投資に対する奨励制度を設けた。
- 問** 改正により追加される脱炭素に資する設備として想定されるものについて
- 答** 想定している設備は大きく分けて2つあり、1つ目は二酸化炭素の排出を抑えるために、生産施設で使用する燃料を石油から天然ガスや再生エネルギー等に転換する場合、2つ目は生産設備や空調設備を省電力のものに更新する場合等である。

総務文教 9月11日に開催し、付託された第78号議案関係部分など2議案を慎重審査した結果、全会一致で原案通り可決すべきものとされました。

<自動録音電話機等普及促進事業について>

- 問** 申請件数、補正予算での見込件数及び申請件数が増加した場合の追加補正の考えについて
- 答** 申請件数は8月末現在で111件で、今回の補正予算では自動録音電話機の補助額が1万円のため140台分を見込み、申請件数が増加した場合については、当該事業は兵庫県補助事業であるため、県の予算がある限り補正対応したい。

<赤穂市新学校給食センター整備事業請負契約の締結に係る議決変更について>

- 問** 設計施工一括発注方式(DB方式)のメリットについて
- 答** 設計会社、建設会社、調理機器会社がグループとなり一括で契約していることから、ノウハウを集約した提案をはじめ工期の短縮や事業費の圧縮効果がある。

請願の審査(総務文教) 請願1件について慎重審査した結果、全会一致で採択すべきものとなりました。

「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書採択の請願について

- 文部科学省が教職員の働き方改革を進めるためには、処遇改善の課題、時間外労働、教員希望者の減少に伴う教員不足など解消していく必要があると考える。
- 教職員の労働環境、処遇改善については子供たちの学びのためにも非常に重要であると考えている。

意見交換会の開催

開かれた議会への取組みとして、常任委員会と住民(団体)との意見交換会を次のとおり実施しました。

(建設水道委員会)

日 時 令和6年8月2日(金) 午後4時～
 テーマ 観光ガイドから見る赤穂市観光の現状と課題について
 相手方 播州赤穂観光ガイド協会役員

(民生生活委員会)

日 時 令和6年8月21日(水) 午後1時30分～
 テーマ 子育て応援隊の現状と課題及び赤穂市の子育て世帯のニーズについて
 相手方 子育て応援隊

(総務文教委員会)

日 時 令和6年8月21日(水) 午後7時～
 テーマ 赤穂市各小学校におけるPTA活動の現状と課題について
 相手方 赤穂市各小学校PTA会長

※当日いただきましたご意見等は市議会ホームページで公開しています。



建設水道委員会行政視察報告 (令和6年7月16日～18日)

●佐賀県佐賀市 佐賀市下水浄化センターの取組みについて

佐賀市下水浄化センターでは汚水処理した後の水を、農地への液肥に利用したり、ノリの成育に必要な栄養分として放流している。また、下水処理過程で生じる汚泥を肥料化、消化槽でメタン発酵した際発生する消化ガスで発電を行うなど、下水道資源の有効利用に取り組んでいる。令和5年から地域のバイオマスを集約処理する事で消化ガスによる電力自給率の向上を図っている。

●佐賀県鳥栖市 企業誘致に対する取組みについて

鳥栖市は九州における交通の要衝の利点を生かし、企業誘致に精力的に取り組んでいる。現在は小郡鳥栖南スマートインターチェンジ周辺において、地域未来投資促進法を活用した産業団地の開発(サザン鳥栖クロスパーク開発事業)を進めている。市として佐賀県企業立地課や首都圏事務所と協力し企業誘致を行い、また奨励制度として企業立地奨励金や雇用奨励金を設けている。



鳥栖市議会にて

●熊本県荒尾市 荒尾駅前活性化プロジェクトの取組みについて

JR荒尾駅前が増加した空き店舗を官民一体でリノベーションし、再活用する荒尾駅前活性化プロジェクトを進め、駅近くで進める「あらお海陽スマートタウン」と両拠点を回遊する人の流れをつくり新たなにぎわい創出を目指している。

議会運営委員会行政視察報告 (令和6年7月29日～31日)

●山口県山陽小野田市 特定のテーマについて懇談する「市民懇談会」やコーヒー等を飲みながら議会報告等を行う「議会カフェ」を実施し広聴機能の充実を図っている。予算・決算の審査については、予算決算常任委員会を設置し分科会において審査されていた。政治倫理条例の請負契約等の辞退については、規定されていない。

●福岡県古賀市 議員全員で政策立案を推進する「政策推進会議」を実施されており、市の防災基本条例の制定やゼロカーボンシティ宣言を後押しするなど効果を発揮している。また大学とのパートナーシップ協定を締結し、政策提言に生かしている。政治倫理条例の請負契約等の辞退については、2親等以内の親族まで適用されていた。



山陽小野田市議会にて

●岡山県高梁市 令和4年に議員定数条例を改正し議員定数を18名から16名へ削減している。それに伴い常任委員会構成について検討しており、従来の3委員会を2委員会に変更していた。議会のICT化については、議会ICT化推進特別委員会を設置し、タブレット端末を導入・活用している。政治倫理条例の請負契約等の辞退については、規定されていない。

議会活動状況 (令和6年8月～10月)

8月

- 2日・会派代表者会
 - ・建設水道委員会と「播州赤穂観光ガイド協会役員」との意見交換会
- 7日・国民健康保険運営協議会
- 21日・民生生活委員会と「子育て応援隊」との意見交換会
 - ・総務文教委員会と「赤穂市各小学校PTA会長」との意見交換会
- 27日・議会運営委員会
 - ・会派代表者会
- 29日・幹線道路・河川整備特別委員会

9月

- 3日・本会議[第3回定例会開会]
 - (報告・議案説明・人事案件等)
- 6日・本会議 (議案質疑等)
- 9日・民生生活委員会
- 10日・建設水道委員会
- 11日・総務文教委員会
 - ・会派代表者会
 - ・議会運営委員会
- 19日・本会議 (一般質問9名)
- 20日・本会議 (一般質問4名・議案表決等)
 - [第3回定例会閉会]
 - ・議会報編集委員会
 - ・西播磨市町議長会県議会議員要望会 (姫路市)
- 26日・決算特別委員会 (市民病院、上下水道部)
- 27日・議会運営委員会
 - ・安室ダム水道用水供給企業団議会 (上郡町)

10月

- 3日・決算特別委員会 (総務部、市長公室 外)
- 9日・議会運営委員会
- 10日・決算特別委員会 (市民部、健康福祉部 外)
- 11日・近畿市議会議長会議長研修会 (京都市)
- 15日・議会報編集委員会
- 16日・西播磨市町議長会 (市川町)
- 17日・決算特別委員会 (消防本部、教育委員会)
- 22日・議会報編集委員会
- 24日・決算特別委員会 (総括質問)
- 29日・青森県五所川原市議会行政視察 (来庁)

幹線道路・河川整備特別委員会現地視察

令和6年8月29日(木)、幹線道路・河川整備特別委員会を開催し、所管課から幹線道路及び河川整備状況の報告等を受けた後、今年度の取組みについて意見の取りまとめをし、加里屋川広域河川改修事業(砂子地区)及び道路改築事業(周世地区)の現地視察を行いました。

当委員会では、幹線道路・河川の整備に係る取組みのほか、要望活動などを行う予定です。



☆11月定例会・常任委員会の日程(案)☆

日	月	火	水	木	金	土
11/17	11/18	11/19	11/20	11/21	11/22	11/23
					本会議 (1日目)	(勤労感謝の日)
11/24	11/25	11/26	11/27	11/28	11/29	11/30
	本会議 (2日目)			民生生活 委員会	建設水道 委員会	
12/1	12/2	12/3	12/4	12/5	12/6	12/7
	総務文教 委員会					
12/8	12/9	12/10	12/11	12/12	12/13	12/14
	本会議 (3日目) 一般質問	本会議 (4日目) 一般質問	本会議 (予備日)			

※いずれも午前9時30分から開催予定です。
※委員会は原則公開で、開会後の委員会室の出入りは休憩中を原則としています。

年賀状等挨拶状の禁止について

議員は、選挙区内の皆様に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状などの時候の挨拶状を出すことは禁止されておりますので、皆様のご理解をお願いいたします。

令和6年8月9日号の訂正について

P7「6月(第2回)定例会第77号議案に対する議員別賛否一覧表」内において、南條千鶴子議員は欠席されていたので「欠」にすべきところ、賛成「○」と記載していたため、訂正しお詫びいたします。
※市HPには正しい表記で掲載しています。

編集後記

- *日増しに秋の深まりを感じる季節となりました。寒さも増してきておりますので、風邪など体調管理に気を付けましょう。
- *今月は9月(第3回)定例会の内容を中心にお知らせしました。
-
- *表紙の写真は、坂越の船祭です。